

2012年4月16日

マスコミ各位（幹事社 QAB FAX869-9946）掲示をお願いします。
泡瀬干潟を守る連絡会
共同代表 小橋川共男 漆谷克秀
連絡先 前川盛治（泡瀬干潟を守る連絡会・事務局長）
携帯:090-5476-6628

記者会見のご案内

日時：2012年4月18日(水)、午前11時

場所：沖縄市泡瀬3-47-1、ウミエラ館、下記地図参照）

記者会見の内容を理解するためには、現地で説明したほうが理解しやすいと思い、場所を、ウミエラ館にしました。ご理解下さい。

記者会見内容

泡瀬干潟・浅海域での絶滅危惧種「フジイロハマグリ」の発見とその保全

2012年4月8日(日)、ウミエラ館（館長：屋良朝敏）主催の「干潟観察会」で「フジイロハマグリ」の生貝を発見した。このフジイロハマグリは、「レッドデータおきなわ」で絶滅危惧種として記載されており、泡瀬干潟のみに生息しているといわれる、極めて貴重な貝であり、今回で3例目である。

このフジイロハマグリは、過去（2005年）にも泡瀬干潟で発見されており、私たち「泡瀬干潟を守る連絡会」、「泡瀬干潟生物多様性研究会」（山下博由会長）や「日本ベントス学会」（向井宏会長）は、きわめて貴重な種が生息する場所の、浚渫・埋立を中止するように記者会見し、関係者に要請したが、事業者はその種を確認することもせず、事業を強行してきた。

今回の発見にあたり、再度泡瀬干潟・浅海域の貴重さを再確認し、その保全を訴え、再開された「泡瀬干潟・浅海域の埋立」の中止を訴える。



記者会見の場所：ウミエラ館
沖縄市泡瀬3-47-1



2005年に発見されたフジイロハマグリ